

保育指導案

1 日 時 平成28年10月26日(水) 8:15~10:20

2 組 名 もも1組 (3歳児) 男児8名 女児10名 計18名
もも2組 (3歳児) 男児9名 女児9名 計18名

3 場 所 園庭・保育室

4 保育内容 遊ぼう!!自然と友達と

5 子供の姿・環境と教師の援助

○ 子供の姿

1学期は、教師や友達の存在に安心感をもち、生き物との触れ合いや保育室前のままごとコーナーで遊ぶことで、様々な遊びへの関心が広がっていた。教師とのかかわりを頼りにしながら、友達に関心をもち、好きな友達と遊ぼうとする姿も増えてきた。じっくりと自分のペースで遊ぶ姿も見られるが、2学期に入ってからは、友達のしている遊びに興味をもって加わったり、同じ場で遊んでいる友達と一緒に遊ぼうとしたりする姿が増えてきている。

9月末に大型バスに乗って遠足に行き、座席から眺めの良い景色を見たり、トンネルを通ったりすることをみんなで喜んだ。その経験をもとに、新聞紙で作ったハンドルを持って園庭で遊んだり、自分の好きな色を塗った運転士の帽子をかぶって運転士さんになりきって遊んだり、椅子をバスの座席のように並べたりすることを楽しむ姿が見られるようになった。「ガソリンスタンドがあるよ。」という、子供たちの言葉から、みんなで段ボールに色を塗り、ガソリンスタンドを作った。その後、バスでガソリンを入れに行ったり、ガソリン屋さんになったりする遊びに広がり、より友達とかかわって言葉を交わしながら遊ぶ姿が見られるようになった。

自ら選んだ遊びでは、園庭で色水遊びやままごと、バスごっこなどをして、秋の自然に触れ友達に関心をもちながら遊んでいる。ままごとでは本物の調理器具を使って遊ぶことで料理や家のイメージが広がり、その中で感じた思いを友達に伝えようとする姿が増えてきている。異年齢の友達の遊びを見て、刺激を受け、真似て遊ぶ姿も見られる。

○ 環境と教師の援助

これまで、安心して教師にかかわり自分の思いやしてほしいことを伝えたり、教師と一緒に思いを叶えたりすることで、かかわりを喜び充実感を得ることができるようになってきた。また、友達の存在を感じ、友達の遊びに気付くことができるように、教師が友達のいる場に少しずつ誘ったり、言葉で代弁したりしてきた。

遠足でバスに乗った時の経験を共有できるように、学級で楽しかったことを振り返ったことが、バスごっこの遊びにつながっていった。バスのイメージがもてるように、バスに関する絵本を読んだり、一緒にトンネルに色を塗ったり、なりきって遊べるように運転士の帽子や新聞紙のハンドルを作ったりしてきた。作ったものを使ってごっこ遊びをする中で、さらに子供たちが自ら遊びをつくっていきけるように、遊びに必要な物を子供たちと一緒に考えている。また、ガソリンスタンド遊びでは、「いらっしやいませ」「ガソリンですよ」「次の人どうぞ」など、思いを言葉にしている姿を認め、言葉や仕草で自分の思いを表現できるようにしている。それぞれの思いを認めながら、子供同士の思いをつなげたり広めたりしていき、同じイメージをもって遊ぶ中で、自分の思いを出しながら友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じてほしい。

園庭のままごとコーナーでは、子供の伝えたい思いや作ったものを見てほしいという思いに個々に応えることで、一人一人が遊ぶ喜びを感じられるようにしてきた。また、異年齢児が活動する姿から刺激を受け、よりいろいろな友達とのかかわりをもてることを期待し、保育室前から子供たちの集まる砂場の前にコーナーを移動した。自然物を売っているお店屋さんでは、自分からお店に行きやりとりをしたり、買ったものを生かしてままごとや色水遊びなどの遊びへ広がったりするように言葉をかけてきた。学年に関わらず友達からの刺激を受けながらかかわることの楽しさを味わえるように、友達の遊びに関心を持ち同じ場で遊ぼうとする姿を受け止めたり、相手に思いが伝わるように援助しながら一緒に遊べるようにつなげたりするなど、楽しい雰囲気を子供と共につくっていくことができるようにしたい。

6 ねらいと内容

- 秋の自然に触れながら、いろいろな遊びに興味をもち、友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。
- 遊びの中で友達とかかわりながら、自分なりの言葉や方法で思いを表現する喜びを味わう。
 - ・色水遊びやお店屋さんで、秋の自然に触れて遊ぶ。
 - ・異年齢児の姿を真似て、ジュズダマ通しやドングリごま遊びをする。
 - ・ままごとやお風呂屋さんごっこ、バスごっこなどの好きな遊びをする。
 - ・遊びの中での思いや気付きを、教師や友達に自分なりの表現で伝える。

7 本時までの遊びの流れ

行事やクラスでのまとまった活動

- ・バス遠足（福山市立動物園） 9 / 30
- ・秋の自然物拾い（なかよし公園） 10 / 3
- ・バスごっこ（保育室内） 10 / 4
- ・バスごっこ（園庭） 10 / 14
- ・ガソリンスタンドを作ろう 10 / 14
- ・色水遊び 10 / 17
- ・バスに色をぬろう 10 / 18
- ・ドングリ遊び 10 / 20

自ら選んだ遊び

- ・ままごと
- ・バスごっこ
- ・砂場遊び
- ・お店屋さんごっこ
- ・コンサートごっこ
- ・かけっこ、ジャンプ遊び
- ・色水遊び
- ・オナモミ遊び
- ・ジュズダマ通し
- ・お風呂屋さんごっこ
- ・ドングリごま遊び

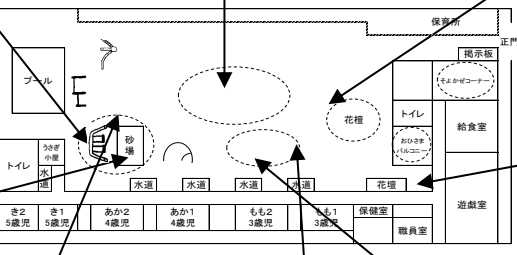
8 評価の観点

<子供>

- 自分の好きな遊びを友達と楽しんでいたか。
- 遊びの中で友達とかかわりながら、思いを自分なりの言葉や方法で表現していたか。

<教師>

- 教師も一緒に遊びながら、伸び伸びと遊びを楽しむ雰囲気を作っていたか。
- つぶやきや聞いてほしい思いを受け止めたり、友達に伝わるようにかかわったりしていたか。

| 時間 | 保育の展開 | ●予想される子供の姿 | ◎環境構成 | ※教師の援助 |
|-----------------------|---|--|--|---|
| 8 : 15 | <p>○登園する。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> | <p>〈ジュズダマ通し〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異年齢の友達に教えてもらいながら、テグスにジュズダマを通して、ブレスレットやネックレスを作る。 ◎落ち着いて作ることができるように、ブランコスペースに机と椅子を置く。 ※友達が作っている様子を言葉にしたり、友達の遊びとつなげたりし、教師が寄り添いながら作る喜びが味わえるようにする。 | <p>〈かけっこ・ジャンプ遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達と一緒に発泡スチロールの台から台へ跳んだり、台に向かって走ったりして遊ぶ。 ※楽しんでることを受け止めることで、より意欲がもてるようにしていく。 ※子供の遊びの状況に応じて、子供と共に台を動かし環境を再構成していく。 | <p>〈バスごっこ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転士やお客さんになりきって、段ボールのバスに乗って遊ぶ。 ◎イメージをもってバスごっこができるように、段ボールのバスやガソリンスタンド、バス停を用意する。 ※教師と一緒に遊んで遊び楽しい雰囲気を作ることで、自分の思いやイメージを表現しやすくなるようにする。 ※教師が思いを受け止めたり、相手に伝わるように一緒に言葉に置き換えたりして、友達とやりとりをする喜びが感じられるようにする。 |
| 9 : 45 10 : 20 | <p>○片付けをする。</p> <p>・手洗い、うがいを する。</p> <p>○帰りの支度を する。</p> <p>○降園する。</p> | <p>〈砂場遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山や穴を作る。 ◎砂場遊びができるように、スコップ、シャベル、バケツ、型抜きなどを用意する。 ◎遊びに使ったり、用具を洗ったりできるように、タライに水を張る。 ※思いやアイデアを受け止めたり、友達に伝えたりすることで、思いが伝わる喜びが感じられるようにする。 |  | <p>〈お店屋さん〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●葉っぱのお金を使って、遊びに必要なキバナコスモスやサルビア、オシロイバナ、ケイトウなどの花や、ドングリ、オナモミ、ジュズダマなどを買う。 ◎自然物をわかりやすいように分類して並べる。 ※お店の人とのやりとりに必要な言葉が言えるように、一緒に言ったり、教師がモデルとなったりする。 ※ままごとや色水遊びをしている子供たちが、お店に行けば遊びに必要な自然物が買えることに気付くことができるようにする。 |
| | | <p>〈ままごと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●砂や泥、水、花びら、ドングリ、小枝を使って、料理やケーキを作る。 ●自分なりのイメージをもって料理やケーキを作って遊ぶ。 ◎友達とかかわりをもちながらごっこ遊びができるように、異年齢の友達が集まる場にままごとコーナーを作る。 ◎イメージをもって遊ぶことができるように、家庭で使っているような調理器具や自然物、長椅子、シートを巻いたサッカーゴール、水の入ったタライ、切り株などを用意する。 ※なりきって作る姿を受け止め、共感したり思いを引き出したりしていくことで、子供たちがイメージを言葉で表現したくなるようにする。 ※遊びの中でのつぶやきや思いを受け止め、言葉で応えることで、やりとりの楽しさが感じられるようにする。 | <p>〈オナモミ遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オナモミを的に向かって投げて遊ぶ。 ◎オナモミを生かした遊びに興味もてるように、的を用意する。 ※的に当てる嬉しさや楽しさに共感し、より意欲がもてるようにしていく。 | <p>〈色水遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キバナコスモスやサルビア、オシロイバナなどの花を選び、すり鉢ですって色水を作り、ペットボトルやコップに入れて遊ぶ。 ●お店屋さんで使いたい花を買って、色水遊びをする。 ●作った色水をそばにいる友達や教師に見せたり、思いを伝えたりする。 ◎安心して色水遊びができるように、プランターでコーナーを作る。 ◎色水遊びができるように、ジョウゴやすり鉢などの道具を用意する。 ※作りながら気付いたことや色が出た嬉しさを認め、さらに意欲をもって遊べるようにしていく。 ※色水の道具を友達と貸し借りできるように、お互いの思いを引き出したり、伝え方を知らせたりし、それぞれが安心して色水作りを楽しめるようにしていく。 |

| 時間 | 保育の展開 | ●予想される子供の姿 ◎環境構成 ※教師の援助 |
|-------|---|--|
| 8:15 | <p>○登園する。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> | <div data-bbox="593 204 2011 539" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈ままごと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エプロンを着て、自分の役になりきって遊ぶ。 ●バーベキューなどの料理を作る。 <p>◎なりきってままごと遊びができるように、ままごと用具や冷蔵庫、机、椅子、バーベキューセット（網、トング）、ボウルに入れた紐を用意する。</p> <p>※遊びの中でつぶやきや聞いてほしい思いを受け止め応えていき、思いを教師と共有する喜びが感じられるようにしていく。</p> <p>※一緒に料理を作ったり、言葉でやりとりをしたりして、友達とかかわろうとしている姿を見守り、必要に応じてお互いの思いがわかるように援助していく。</p> <p>※子供たちがイメージを表現しやすくなるように、なりきって遊ぶ姿に共感していく。</p> </div> <div data-bbox="779 611 1406 898" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1429 571 2145 922" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈異年齢児とのかかわり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児がしているコンサートごっこやお店屋さんごっこに誘ってもらい、真似て踊ったり、やりとりをしたりする。 ●ドングリごまを回そうとする。 <p>※誘いに来た異年齢児の思いを受け止めたり、知らせたりし、やってみたい思いをもてるようにしていく。</p> <p>※教師と一緒に遊びに参加して温かい雰囲気を作ったり、遊び方を一緒に尋ねたりし、安心して遊びを楽しめるようにしていく。</p> </div> |
| 9:45 | <p>○片付けをする。</p> <p>・手洗い・うがいを する。</p> <p>○帰りの支度を する。</p> | <div data-bbox="436 1002 1310 1473" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈バスごっこ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●段ボールのバスに乗ったり、椅子を並べて座席を作ったりする。 ●運転士やお客さんになりきって遊ぶ。 <p>◎イメージを膨らませバスごっこができるように、段ボールのバスや椅子、ハンドル、トンネル、信号機、ガソリンスタンドを用意する。</p> <p>※教師と一緒に遊び、楽しい雰囲気をつくることで、自分の思いやイメージを表現しやすくなるようにする。</p> <p>※安全に遊べるように、教師も共に遊びながら、どのように運転すればよいかを一緒に考えられるようにする。</p> <p>※遊びの様子を見ながら、信号機や椅子などを子供と共に動かし、環境を再構成していく。</p> <p>※遊びの中で思いやアイデアを受け止め、一緒に叶えたり、友達に伝えたりすることで、思いが伝わる喜びが感じられるようにする。</p> </div> <div data-bbox="1332 1002 2145 1473" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈お風呂屋さん〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お風呂に入り、身体を洗う。 ●ドライヤーで髪を乾かす。 <p>◎イメージを膨らませお風呂屋さんができるように、段ボールのお風呂やドライヤー、桶、椅子、身体を洗うタオルを用意する。</p> <p>※教師と一緒に遊び、楽しい雰囲気をつくることで、自分の思いやイメージを表現しやすくなるようにする。</p> <p>※遊びの様子を見ながら、必要な物や環境を子供と共に再構成していく。</p> <p>※安全に遊ぶことができるように、お風呂やドライヤーなど、それぞれの遊びのスペースを確保していく。</p> <p>※遊びの中で思いを受け止め一緒に叶えたり、友達に伝えたりすることで、思いが伝わる喜びが感じられるようにする。</p> </div> |
| 10:20 | <p>○降園する。</p> | |

